

第6回 ジェンダー のこ

みんなの目標 SDGs

SDGs

世界をよりよく変えるための「持続可能な開発目標」。

国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す目標です。

「世界を変える!？」なんて、自分には関係ないと感じるかもしれません。

でも、あなたのほんの少しの意識と工夫で暮らしや働き方が変わり、一人ひとりの行動が、世界を変える第一歩になるのです。

SDGsは政府が推進し、いま、自治体・企業・地域へと広がっています。

5 ジェンダー平等を 実現しよう



みんなの目標：その5

「ジェンダーの平等を実現しよう」

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る

ジ

ェンダーとは、日本語で「社会的性別」と訳されます。例えば、「男の子だから青色・女の子だからピンク色」や、「男らしく・女らしく」など、社会の中でつくられたイメージや役割分担をいいます。

ジェンダーによる不平等は世界のいたるところにあり、7億5000万人の女性と女児が18歳未満で結婚し、教育を満足に受けられない状況にあります。教育で不利益な立場に置かれれば技術を身に着けることもできず、就業の機会も限られてしまい、結果的に社会的にも不利な立場に置かれてしまいます。

こ

の目標は、女性が潜在能力を十分に発揮して活躍できるようにするため、教育や訓練の充実はもとより、女性と女児に対するあらゆる形態の差別と暴力を無くすことを目指しており、具体目標（ターゲット）を掲げています。

- あらゆる場所において、女性及び女児へのあらゆる差別を撤廃する。
- 公共サービス、インフラ及び社会保障政策の提供と、各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
- 政治、経済、公共分野でのあらゆる意思決定において、女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。 など9項目

参考：国際連合広報センターホームページ

【私たちが日常でできること】

◆自分に偏見や固定概念がないか、意識してみよう!

日頃から、無意識のうちに「男性だから、こうあるべき」「女性だから、こうあるべき」と決めつけていませんか？意識することが、偏見をなくすことの第一歩です。

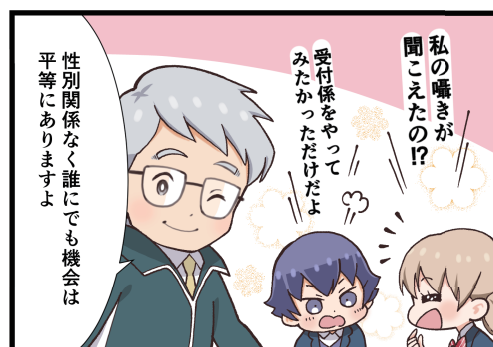
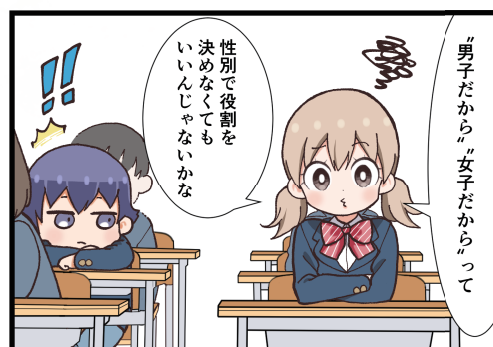
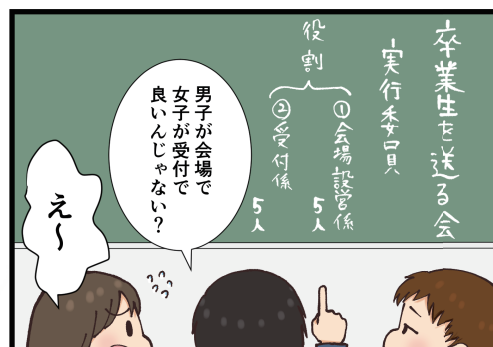


図 企画課 行政経営係

イラスト・九間ハート